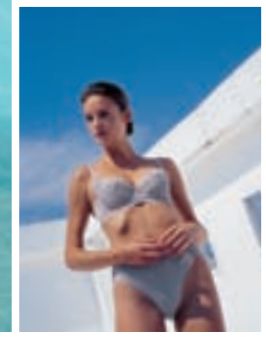


# GSI Creos

## 第79期 ■ 株主通信

平成20年4月1日から平成21年3月31日まで



株式会社 GSIクレオス

## 株主のみなさまへ



株主のみなさまには、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

平素は格別のご支援を賜り厚くお礼を申し上げます。

さて、当社は第79期（平成20年4月1日から平成21年3月31日まで）の営業を終了いたしましたので、ここに営業の概況と決算のご報告を申し上げます。

当社グループは、前期の経営改革策の成果を踏まえ、収益基盤の強化と財務体質の改善に総力をあげて取り組んでまいりました。その結果、収益性は概ね計画どおり改善いたしましたが、配当につきましては財務基盤の充実を図るため、無配とさせていただきます。株主のみなさまにはまことに申し訳なく、深くお詫び申し上げます。

新年度におきましては、新経営体制のもとグループ一丸となり、一日も早い復配の実現に向け邁進する所存でありますので、なにとぞ格別のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成21年6月

取締役社長

深瀬佳洋

# 経営成績（連結）

## ■経営環境

当期におけるわが国経済は、米国発の金融危機が实体经济に影響を及ぼしたことから、企業収益の悪化や個人消費の低迷をきたし、深刻な景気後退局面を迎えることとなりました。

## ■業績

このような状況下、当社グループは、前期に実施した経営改革策を踏まえ、目標利益の確保に向けて事業の見直しによる収益性の向上や経費の削減を進めるとともに、経営基盤の強化に取り組んでまいりました。

当期業績につきましては、アジア向け取引が拡大したものの、事業の選択と集中を進めたことに加え、消費不振の影響を受けたことから、売上が前期比7,212百万円、6.3%減収の107,719百万円となりました。売上総利益は、利益率が0.5ポイント改善しましたが、売上が減少しましたので、前期比275百万円、2.0%減益の13,329百万円となりました。営業利益においては、引き続き経費削減に努めましたので、前期比174百万円、11.7%増益の1,664百万円となりました。経常利益は、持分法適用会社による利益貢献があり、営業外収支が前期に比べ341百万円改善しましたので、前期比516百万円、68.9%増益の1,265百万円となりました。当期純利益につきましては、特別利益として106百万円計上したことに加え、税金費用が減少しましたが、米国の取引先に対する貸倒引当損および株式の評価損のほか、インポート・ブランド事業にかかわる事業撤退損などを特別損失として848百万円計上しましたので、前期比28百万円、6.5%減益の415百万円となりました。

## （繊維関連事業）

売上高は、インナー用原材料の取り扱いが伸長したものの、実用衣料を中心とした製品の販売が店頭不振の影響を受けて苦戦したことや、アウトターOEM事業のうち低採算取引からの撤退を進めましたので、前期比4,319百万円、5.0%減収の82,922百万円となりました。営業利益は、インポート・ブランド事業が不振に陥るとともに、急激な円高により生地輸出取引の採算が悪

化しましたが、企画提案型の婦人ファンデーション事業が引き続き好調に推移したことに加え、婦人アパレル事業の採算が改善しましたので、前期比310百万円、33.0%増益の1,250百万円となりました。

## （非繊維関連事業）

売上高は、景気後退の影響から製造業者の減産が顕著となり、機械・装置や樹脂などの工業用原材料の取り扱いが減少したことに加え、低収益事業からの撤退を進めましたので、前期比2,893百万円、10.4%減収の24,797百万円となりました。営業利益は、売上高の減少を受け、前期比271百万円、19.1%減益の1,152百万円となりました。

## ■対処すべき課題

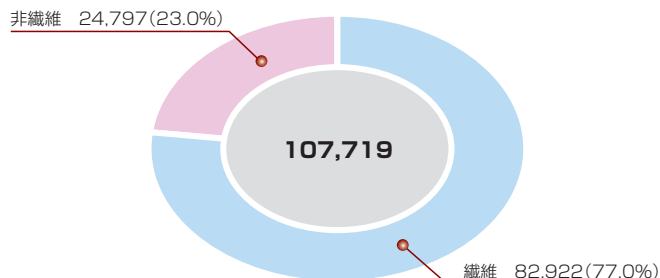
当社グループは、事業構造とコスト構造の改善をさらに進め、早期復配に向けた短期的な利益の確保と中期的な成長への準備の同時実現をめざしてまいります。

1. 利益率の向上：グループ間の機能連携により明確な差別化ポイントを構築するとともに、低収益取引からの撤退と新規顧客の開拓を進めて利益率の向上を図ってまいります。
2. 海外事業の拡大：海外における有望市場・顧客に対するマーケティング情報をグループ全体で共有し、海外拠点の販売機能を強化しながらグローバルベースでサプライチェーン体制を整備してまいります。
3. リスクマネジメントの強化：当社グループの利益計画の達成に影響を及ぼすリスク要因を洗い出し、的確な分析と評価の結果を踏まえて対応策に取り組めるよう、グループ全体でリスクマネジメント体制の強化とリスクセンスの向上に努めてまいります。

なお、ナノテクノロジー事業は、複合材や塗料分野において、当社独自の構造であるカップ積層型カーボンナノチューブ『カルベール』を用いた材料開発に一定の成果があらわれてまいりましたので、事業パートナーとの連携をさらに深めながら、事業化の加速に取り組んでまいります。

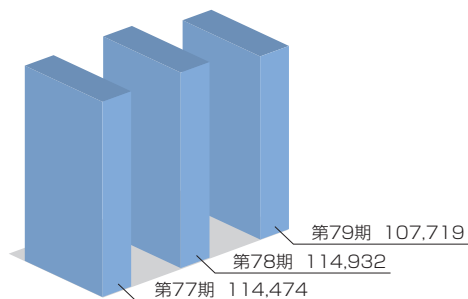
## 売上高構成比（連結）

（単位：百万円）

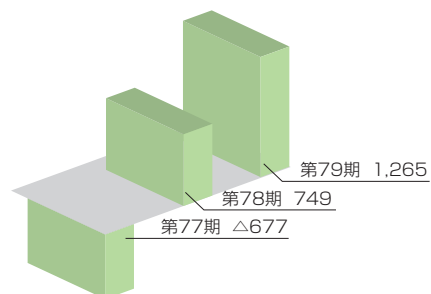


## 業績の推移（連結）

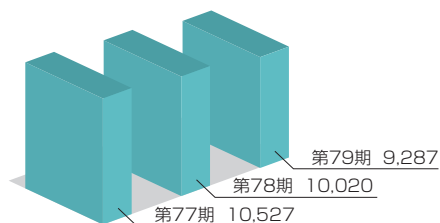
### 売上高（単位：百万円）



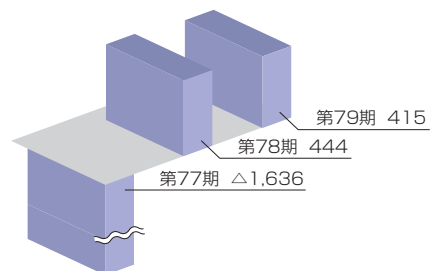
### 経常利益（単位：百万円）



### 純資産（単位：百万円）

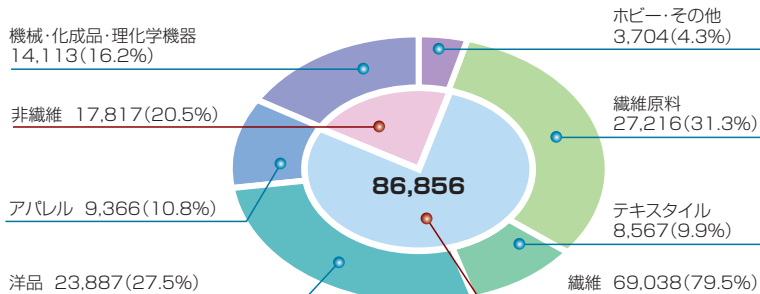


### 当期純利益（単位：百万円）

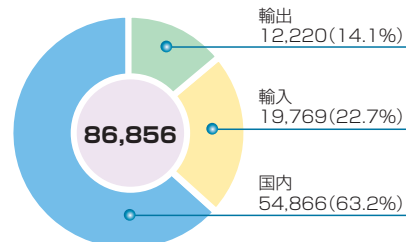


## 売上高構成比（単体）

（単位：百万円）

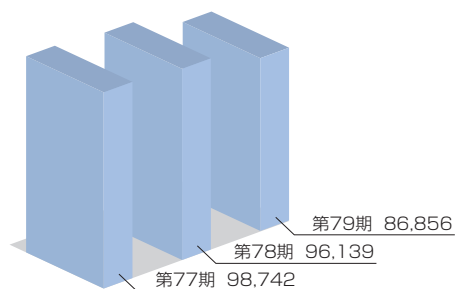


## 取引形態別売上高(単体)

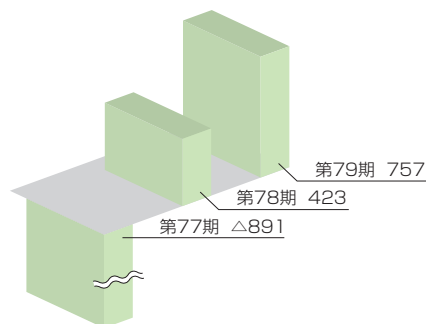


## 業績の推移（単体）

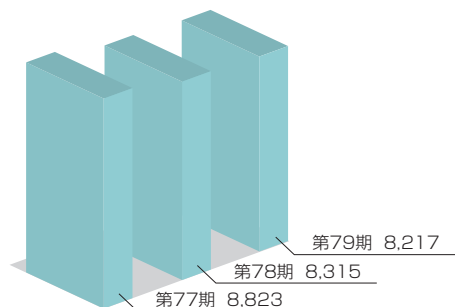
### 売上高（単位：百万円）



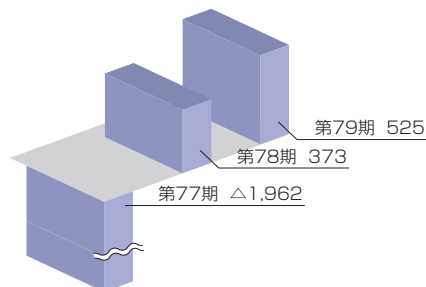
### 経常利益（単位：百万円）



### 純資産（単位：百万円）



### 当期純利益（単位：百万円）



# 財務諸表（連結）

## 貸借対照表

(単位：百万円)

科目	期別	当期	前期
		平成21年3月31日現在	平成20年3月31日現在
		金額	金額
<b>(資産の部)</b>			
流動資産		42,710	44,095
現金及び預金		8,389	8,688
受取手形及び売掛金		24,359	25,948
たな卸資産		8,961	8,484
その他貸倒引当金		1,474	1,529
固定資産		△475	△555
有形固定資産		11,240	11,853
土地		5,686	5,762
その他の固定資産		3,634	3,634
無形固定資産		2,052	2,127
そのれ		136	186
その他		60	126
投資その他の資産		76	60
投資有価証券		5,417	5,904
その		1,936	2,747
他の		3,481	3,157
<b>資産合計</b>		<b>53,951</b>	<b>55,948</b>
<b>(負債の部)</b>			
流動負債		42,692	43,694
支払手形及び買掛金		16,217	17,101
短期借入金		23,341	23,775
1年内返済予定の長期借入金		75	84
未払法人税等		105	193
賞与引当金		272	207
事業撤退特別損失引当金		298	—
その他		2,381	2,331
固定負債		1,971	2,234
長期借入金		528	539
退職給付引当金		1,297	1,270
その他		145	424
<b>負債合計</b>		<b>44,663</b>	<b>45,928</b>
<b>(純資産の部)</b>			
株主資本		10,480	10,069
資本金		7,186	7,186
資本剰余金		908	908
利益剰余金		2,436	2,020
自己株式		△51	△46
評価・換算差額等		△1,286	△280
その他有価証券評価差額金		△714	△16
繰延ヘッジ損益		△15	△19
為替換算調整勘定		△555	△65
少数株主持分		93	231
<b>純資産合計</b>		<b>9,287</b>	<b>10,020</b>
<b>負債及び純資産合計</b>		<b>53,951</b>	<b>55,948</b>

## 損益計算書

(単位：百万円)

科目	期別	当期	前期
		平成20年4月1日から平成21年3月31日まで	平成19年4月1日から平成20年3月31日まで
		金額	金額
売上高		107,719	114,932
売上原価		94,389	101,327
<b>売上総利益</b>		<b>13,329</b>	<b>13,604</b>
販売費及び一般管理費		11,665	12,115
<b>営業利益</b>		<b>1,664</b>	<b>1,489</b>
営業外収益		455	297
営業外費用		854	1,037
<b>経常利益</b>		<b>1,265</b>	<b>749</b>
特別利益		106	366
固定資産売却益		—	131
投資有価証券売却益		43	136
その他		63	98
特別損失		848	447
貸倒損失・貸倒引当金繰入額		63	293
投資有価証券評価損		352	40
事業撤退特別損失		387	—
その他		45	113
<b>税金等調整前当期純利益</b>		<b>523</b>	<b>668</b>
法人税、住民税及び事業税		181	249
法人税等調整額		△167	△53
少数株主利益		93	27
<b>当期純利益</b>		<b>415</b>	<b>444</b>

## キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科目	期別	当期	前期
		平成20年4月1日から平成21年3月31日まで	平成19年4月1日から平成20年3月31日まで
		金額	金額
営業活動によるキャッシュ・フロー		573	332
投資活動によるキャッシュ・フロー		△612	270
財務活動によるキャッシュ・フロー		△291	△2,060
現金及び現金同等物に係る換算差額		△110	△8
現金及び現金同等物の増減額		△440	△1,465
現金及び現金同等物の期首残高		8,888	10,354
連結除外に伴う現金及び現金同等物の減少額		△58	—
現金及び現金同等物の期末残高		8,389	8,888

# 財務諸表（単体）

## 貸借対照表

（単位：百万円）

科目	期別	
	当 期 平成21年3月31日現在	前 期 平成20年3月31日現在
	金額	金額
（資産の部）		
流動資産	34,408	37,077
現金及び預金	6,906	7,195
受取手形及び売掛金	20,162	22,530
たな卸資産	6,438	6,423
その他の	1,344	1,478
貸倒引当金	△443	△550
固定資産	12,260	12,145
有形固定資産	4,236	4,273
土地	2,960	2,960
その他の	1,275	1,312
無形固定資産	28	29
諸権利金等	28	29
投資その他の資産	7,995	7,842
投資有価証券	1,693	2,040
関係会社株	2,555	2,367
その他の	3,746	3,433
資産合計	46,669	49,223
（負債の部）		
流動負債	37,249	39,728
支払手形及び買掛金	13,606	15,120
短期借入金	21,314	22,380
未払法人税等	38	34
賞与引当金	168	132
事業撤退特別損失引当金	298	—
その他	1,823	2,061
固定負債	1,202	1,179
退職給付引当金	1,186	1,173
その他	15	5
負債合計	38,451	40,908
（純資産の部）		
株主資本	8,947	8,427
資本金	7,186	7,186
資本剰余金	913	913
利益剰余金	899	373
自己株式	△51	△46
評価・換算差額等	△729	△112
その他有価証券評価差額金	△714	△17
繰延ヘッジ損益	△15	△95
純資産合計	8,217	8,315
負債及び純資産合計	46,669	49,223

## 損益計算書

（単位：百万円）

科目	期別	
	当 期 平成20年4月1日から 平成21年3月31日まで	前 期 平成19年4月1日から 平成20年3月31日まで
	金額	金額
売上高	86,856	96,139
売上原価	77,019	85,774
売上総利益	9,836	10,365
販売費及び一般管理費	8,973	9,488
営業利益	863	877
営業外収益	708	405
受取利息	70	77
受取配当金	535	240
その他の	101	87
営業外費用	813	859
支払利息	480	509
その他の	333	349
経常利益	757	423
特別利益	214	363
貸倒引当金戻入額	156	—
固定資産売却益	—	128
投資有価証券売却益	43	136
その他の	14	98
特別損失	476	438
貸倒損失・貸倒引当金繰入額	63	293
投資有価証券評価損	—	36
事業撤退特別損失	387	—
その他の	24	107
税引前当期純利益	495	349
法人税、住民税及び事業税	27	21
法人税等調整額	△57	△46
当期純利益	525	373

# 会社の概況 (平成21年3月31日現在)

## 企業集団の主要な事業内容

当社グループは糸からアパレルまでの繊維関連事業を主たる事業としているほか、機械、化成品、その他の非繊維関連事業を営んでおります。

事業セグメント	主要商品
繊維関連事業	化合繊糸、化合繊織物、肌着、靴下、婦人服、紳士服他
非繊維関連事業	機械、化成品、理化学機器、紙管、ホビー、花火、不動産管理のサービス他

## 営業所等

本社	東京都千代田区九段南二丁目3番1号
支店	大阪 (大阪市中央区)
営業所等	柳橋 (東京都台東区)、五反田 (東京都品川区)、中目黒 (東京都目黒区) 福岡 (福岡市博多区)、北陸 (福井県福井市)、ナノ・バイオ開発センター (川崎市川崎区)
海外事務所	上海
海外現地法人等	ニューヨーク、デュッセルドルフ、サンパウロ、香港、北京、上海、深圳 ソウルに海外法人 その他に海外合併企業

## 主要な借入先

借入先	借入額
株式会社みずほ銀行	7,532百万円
株式会社三菱東京UFJ銀行	7,532
農林中央金庫	3,000
株式会社三井住友銀行	1,700



## 株式の状況

(1) 発行可能株式総数	200,000,000株
(2) 発行済株式の総数	64,385,569株(自己株式 264,146株を除く)
(3) 株主数	8,094名
(4) 大株主	

株主名	持株数	出資比率
グンゼ株式会社	9,321千株	14.48%
株式会社みずほ銀行	3,182	4.94
株式会社三菱東京UFJ銀行	3,172	4.93
日本生命保険相互会社	2,586	4.02
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口4G)	2,178	3.38
東レ株式会社	1,982	3.08
日本証券金融株式会社	1,426	2.21
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,416	2.20
日本興亜損害保険株式会社	1,119	1.74
ジェーピーモルガン チェース バンク 385107	702	1.09

(注) 出資比率については、自己株式(264,146株)を控除して算出し、小数点第3位以下を四捨五入して表示しております。

## 従業員の状況

### 企業集団の従業員

事業セグメント	従業員数	前期末比増減
繊維関連事業	214名	△23名
非繊維関連事業	172	10
全社(共通)	102	4
合計	488	△9

- (注) 1. 従業員数は、当社グループから当社グループ外への出向者を除き、当社グループ外から当社グループへの出向者を含む就業人員であります。
2. 嘱託、デザイナー、販売社員、海外現地社員および当社グループ外への出向者は118名であり、上記に含んでおりません。
3. 全社(共通)として記載されている従業員数は、特定の事業セグメントに区分できない管理部門に所属しているものであります。

## 重要な子会社の状況

会社名	所在地	資本金	出資比率 (間接所有を含む)	主要な事業内容
株式会社セントラル科学貿易	東京都台東区	100百万円	100.00%	理化学機器等の販売
大三紙化工業株式会社	埼玉県越谷市	50百万円	92.50	紙管の製造販売
株式会社オフィス・メイト	東京都千代田区	40百万円	100.00	不動産の賃貸管理および仲介
株式会社ジーマーク	東京都千代田区	46百万円	100.00	花火の輸入販売
株式会社いずみ	大阪市中央区	45百万円	100.00	婦人用インナーの企画、製造および販売
丸一産業株式会社	東京都台東区	85百万円	100.00	ストックング、ソックス用原糸の燃糸加工および販売
G S I ホールディング社	米国・ニューヨーク	1,010千米ドル	100.00	米国における持株会社
G S I アメリカ社	米国・ニューヨーク	2,000千米ドル	100.00	商品の輸出入・販売
G S I 香港社	中国・香港	13,865千香港ドル	100.00	商品の輸出入・販売
G S I 上海社	中国・上海	4,139千人民元	100.00	商品の輸出入・販売

- (注) 1. 株式会社オフィス・メイトに対する出資比率のうち、20.62%は間接所有によるものであります。  
2. GSIアメリカ社およびGSI上海社に対する出資比率は、間接所有によるものであります。

## 役員 (平成21年6月26日現在)

### 取締役

取締役会長	加藤元信
代表取締役社長	深瀬佳洋
常務取締役	中島浩二
常務取締役	宮崎満
取締役	松下康彦
取締役	吉永直明
取締役	田中正道
取締役	中山正輝

### 監査役

常勤監査役	石川均
監査役	姉崎瑛一
監査役	山口健治
監査役	岩田紀治

### 執行役員

浦山洋	荒木靖司
浅野幹雄	沖田陽二

- (注) 監査役のうち山口健治、岩田紀治の両氏は、会社法第2条第16号に定める社外監査役であります。

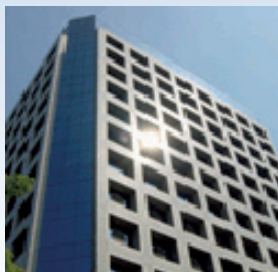
## ■『チャイナプラスワンに対応』

—— タイ・バンコクに駐在員事務所を開設

当社の香港法人であるGSI香港社は、2009年2月、繊維関連事業の更なる拡大をはかるため、駐在員事務所をタイ・バンコクに開設いたしました。

GSI香港社が、従来、中国華南地区を中心に展開してきた糸・生地取引においては、原糸の調達や生地の編みたて、縫製などが急速にアセアン地域へ分散化しております。

これに対応するため、アセアン諸国への交通の利便性を考慮して、東南アジアの中心に位置するタイ・バンコクに事務所を開設し、タイおよび近隣諸国における原料・生地デリバリーのフォロー、原糸の情報収集を行なうことにより、事業基盤の強化をはかることといたしました。



また、本事務所を当社グループの東南アジアにおける攻略拠点と位置付け、日アセアン包括的経済連携（AJCEP）協定の活用も視野に入れ、近隣の有望な新興国市場の情報を収集し、グループ内に発信することにより、繊維関連事業のみならず、ケミカル、機械などの分野においても事業の拡大に取り組んでまいります。

## 株主メモ

事業年度 毎年4月1日～翌年3月31日

期末配当金受領株主  
確定日 3月31日

定時株主総会 毎年6月

株主名簿管理人  
特別口座の口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社

同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部  
〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号  
Tel 0120-232-711 (通話料無料)

上場証券取引所 東京証券取引所、大阪証券取引所

公告の方法 電子公告により行う。

公告掲載URL <http://www.gsi.co.jp>

(ただし、電子公告によることができない事故その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。)

### (ご注意)

1. 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

※表紙写真 左／カルベール®充填表面処理材料ナノテクト®を被膜したボルトナット類（ご協力：(株)竹中製作所様）  
中／カルベール®充填プリブレグ使用自転車F1-SLのフレーム（ご協力：FELT様）  
右／婦人ファンデーション